

県議会報告

(本人顔写真)

みどりニュース 第38号

〒860-0066 熊本市城山下代4-7-28 平野みどり事務所
電話(096)319-4080 ファックス(096)319-4081
Eメール info@hiranomidori.net
平野みどりのホームページ <http://www.hiranomidori.net/>

熊本県議会議員 平野みどり

今こそ進めたい、議会改革！

地球温暖化の影響でしょうか、異常に暖かかったこの冬も終わろうとしています。いかがお過ごしでしょうか。さて、「政治とお金」にまつわる記事が、統一自治体選挙を前に、連日、新聞やテレビで取り上げられています。旧態依然とした「公金感覚」が、議会に蔓延していることは事実です。私たち、県民クラブは、これを期に何とか変えて行きたいと取り組んでいます。



領収書添付、情報公開は当たり前

議員報酬とは別に、県議会議員に支給されている政務調査費の用途について、極めて不適切な例が、全国各地で報告されています。

熊本県議会では、政務調査費は、議会活動を進めるための調査研究活動の他、県政報告会開催費、議会便り発行費や郵送料、人件費などに使うよう、要綱で規定されています。

私たちは、年一回報告書を提出していますが、それには領収書の添付義務が無く、情報公開は規定されていません。しかしながら、私たち県民クラブは、議長に「公金の用途を明らかにするのは当たり前」と、領収書の添付の義務化と情報公開を可能にするよう改善を要望しています。3月7日現在、まだ前進していませんが、何とか県民の皆さんの納得が得られる方向へと働きかけてまいります。

また、会期中に支給される費用弁償(交通費)についても、熊本市内在住の議員には無しにし、それ以外は実費支給とするよう申し入れています。

突然の「入札改革の決議」提案？！

補正予算等を採決する2月27日の本会議で、自民党から「官製談合の根絶と入札改革に関する決議」が提案されました。しかし、私たち県民クラブ、公明党、新社会党、共産党と無所属の福島和敏県議は、熟慮の上、この決議に反対しました。一見する

と、さも県民の目線に立った決議のようですが、「入札改革はほどほどに」という内容で、選挙を目前にした今、この決議が提案される意図は、自民党や無所属議員からの建設業界へのリップサービスと受け取られても仕方ありません。異常なほど口利き防止に消極的で、建設業に繋がりを持つ議員が大勢を占める県議会の在り方を大きく左右する入札改革は、しっかりと進めるべきだと考えます。

平野みどりのプロフィール

生年月日：1958年6月16日 双子座、B型

出身地：熊本市生まれ

経歴：熊本市立健軍小、湖東中、県立第一高校、
津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業

家族：夫 清一(きよかず)

政治経歴：1997年の熊本県議会議員補選で初当選。

現在3期目。会派は県民クラブ。

活動：NPO法人 ヒューマンネットワーク熊本 常任委員
・社会福祉法人ライン工房 評議員
・川辺川を守りたい女性たちの会会員
・環境ネットワークくまもと会員、他

趣味：ジャズやポップスのボーカル、料理、読書
マイブーム：韓国ドラマ「復活」

カラオケの歌：高橋真梨子、中島美嘉、一青窈など。

座右の銘：夜明けの来ない夜はない